

2025年以降の世界株式は、同年4月の米国による相互関税の発表や、2026年2月以降の中東情勢の緊迫化などを受けた一時的な調整局面を挟みながらも、AI(人工知能)の普及への期待や底堅い企業業績を背景に、総じて堅調に推移してきました。もっとも、ハイテク分野を中心に過熱感が意識される中、米国への一極集中を見直す動きも散見されます。

こうした中、本稿では、分散投資の一手としての欧州株式の魅力に迫ります。

ブランド力などをテコに世界で稼ぐ欧州企業

欧州の代表的な株価指数であるSTOXXヨーロッパ600指数の構成上位銘柄は、情報技術、ヘルスケア、生活必需品など、複数のセクターにまたがっています(図表【A】)。巨大ハイテク企業群への集中度が高い米国主要株価指数と比べ、欧州主要株価指数の銘柄構成はより分散された特徴を有しています。

また、欧州には、長い歴史の中で培われたブランド力や技術力を競争優位の源泉とし、グローバル市場で確固たる地位を築いてきた企業が多く存在します。これらの企業は、本拠地を欧州に置きながらも、多国籍企業として世界各地で事業を展開しています。実際にSTOXXヨーロッパ600指数全体でみると、売上高に占める欧州域外比率が高い企業は、時価総額ベース(浮動株調整後)で約3分の2を占めています(図表【B】)。

このことは、欧州株式が欧州域内の景気動向に連動するだけの投資対象ではなく、世界経済の成長を幅広く

取り込む性格を備えていることを示しています。

しっかり稼ぎ、株主還元を重視する企業文化

欧州株式の特徴は、企業の収益分配姿勢にも表れています。利益の成長性という点では、総じて米国が優位に立つものの、ハイテク分野を中心に企業が積極的な設備投資を行なう米国と比べると、欧州では、事業による現金収支から設備投資などを差し引いたフリー・キャッシュ・フローの利回りが相対的に高水準となっています。また、配当利回りでも欧州は米国を上回っており、稼いだ成果を株主に還元する企業文化が根付いていることがうかがえます(図表【C】)。

将来の成長に向け設備投資を積み増す米国に対し、確立されたブランド力や技術力をもとに世界でしっかり稼ぎ、株主への還元を重視する欧州の株式は、分散投資先として魅力的と考えられます。

【A】STOXXヨーロッパ600指数の構成上位銘柄

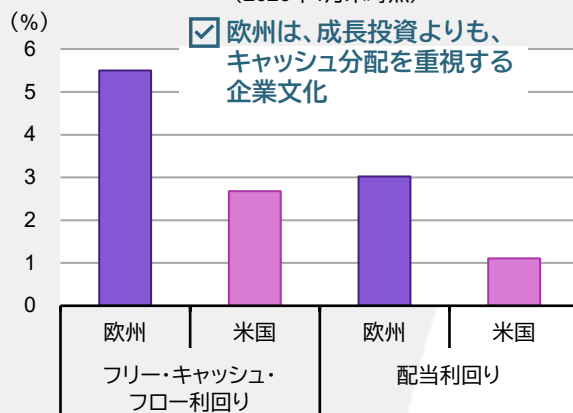
(2026年4月末時点)

銘柄名	国名	業種名 ^{*1}	構成比率
1 ASMLホールディング	オランダ	情報技術	3.7%
2 HSBCホールディングス	イギリス	金融	2.1%
3 アストラゼネカ	イギリス	ヘルスケア	2.0%
4 ロシュ・ホールディング	スイス	ヘルスケア	1.9%
5 ノバルティス	スイス	ヘルスケア	1.9%
6 ネスレ	スイス	生活必需品	1.8%
7 シェル	イギリス	エネルギー	1.7%
8 シーメンス	ドイツ	資本財・サービス	1.5%
9 トタルエナジー	フランス	エネルギー	1.4%
10 シュナイダーエレクトリック	フランス	資本財・サービス	1.2%

^{*1}業種名は世界産業分類基準(GICS)のセクター分類に基づく

【C】欧米企業^{*3}のキャッシュ・フロー分配の特徴

(2026年4月末時点)

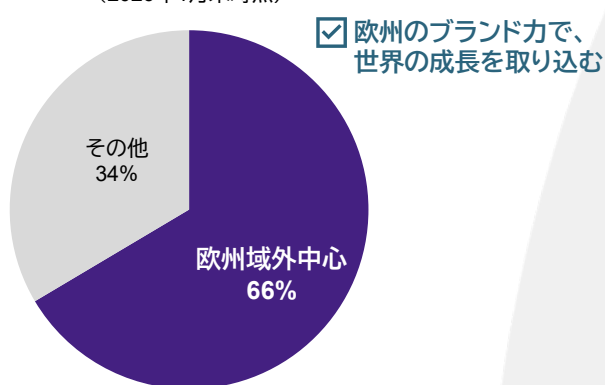


※フリー・キャッシュ・フロー=事業で得られた現金-設備投資など

^{*3}欧州はSTOXXヨーロッパ600指数、米国はS&P500指数ベース

【B】欧州域外売上高比率が高い欧州企業の割合^{*2}

(2026年4月末時点)



☑ 欧州のブランド力で、世界の成長を取り込む

^{*2}欧州域外売上高比率の高い企業で構成されるSTOXXヨーロッパ600欧州域外フォーカス指数のSTOXXヨーロッパ600指数全体に占める割合(浮動株調整後時価総額ベース)

信頼できると判断した情報をもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成

※記載の銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

※当資料に示す各指数の著作権等の知的財産権その他一切の権利は、各指数の算出元または公表元に帰属します。

●上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社